

誰もが誰かのサンタになれる。



チャリティー活動報告



VOL.13

## 「募金箱を用意してくれてありがとう」

平成最後の夏は様々な災害が発生しました。6月は地震、7月には豪雨、そして猛暑。

H<sub>2</sub>OサンタはH<sub>2</sub>Oリテイリンググループ各社と連携し、被災地で活動するボランティアや社会貢献団体を支援する災害募金を行いました。大変多くの方に百貨店の店頭などで募金にご協力いただき、ありがとうございました。

80代の女性からは「被災地のこどもたちの報道を見るたびに胸が締め付けられます。私は高齢で被災地での活動は難しいので、少しでも募金箱に入れておきます。募金箱を用意してくれてありがとう。」と仰っていただきました。

また、7月後半に愛媛県の豪雨災害被災地を訪れた際には、20代の男性が「自分でも用意してきましたが、作業をするときに必要なタオルや水などの支援物資が本当に助かります。僕は体力には自信があるので、支援物資を送ってくれた方の分まで頑張ります。」と言われていました。被災地では浸水跡が生々しく残る被災家屋で汗だくになりながら活動する多くのボランティアの姿があり、災害ボランティアセンターには全国から大量の支援物資が届いていました。

H<sub>2</sub>Oサンタの合言葉は「誰もが誰かのサンタになれる」です。支援の方法は人それぞれです。「誰かの力になりたい」という思いが募金やボランティア活動を通じて助けを必要としている人々に届けられ、「助けを必要としている人」と「誰かの力になりたい人」がつながるお手伝いを続けて参ります。

これからもご協力よろしくお願い致します。

※募金結果は次号にてご報告いたします



一般財団法人H<sub>2</sub>Oサンタ  
事務局長 外間孝次

## こどもシェルターの活動

H2Oサントは、こどもを取り巻く問題の実態把握のため、定期的に専門家やNPO法人の代表者に取材を行っています。今回は、家に帰れないこどもたちのための避難ハウスを兵庫県ではじめて開設した『NPO法人つなご』副理事長の曾我智史さんにお話をお伺いしました。

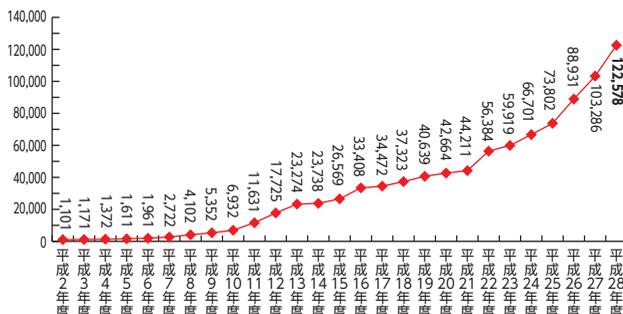
取材・レポート:H2Oサント事務局長 外間孝次

2000年の「児童虐待防止法」の制定後、はじめて児童虐待の定義が明文化。身体的な虐待、性的虐待、ネグレクトに加え、こどもの目の前で家族に対して暴力をふるうことや、言葉による脅しなども心理的な虐待であると定められました。そのような虐待を受けているこどもたちは家に居場所がなく家出を繰り返し、事件に巻き込まれるケースが後を絶ちません。そこで民間支援として大きな役割を果たしているのが、こどもシェルターです。

こどもシェルターは、緊急に居場所を必要とするこどもが一時的に生活を行うことのできる、小規模型の施設であり、弁護士が入居したこどもの支援を行うことを特徴としています。こども側の費用負担は無料。スタッフによる親身なケアで自立を支えています。

こどもたちを、いかに次の支援先へつなげるか。継続的な運営には、何が必要なのか。現状と課題について伺いました。

### 〈児童相談所での児童虐待相談対応件数とその推移〉



※相談対応件数とは、平成28年度中に児童相談所が相談を受け、援助方針会議の結果により指導や措置等を行った件数。  
 ※平成22年度の件数は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値。

### 〈主な増加要因〉

心理的虐待に係る相談対応件数が増加

平成27年度	平成28年度
48,700件	63,187件

警察等からの通告の増加

平成27年度	平成28年度
38,524件	54,813件

出典:第20回児童虐待防止対策協議会  
 (平成29年11月〈速報値〉)



弁護士として非行少年たちの弁護を続けながら、家に居場所をなくした10代後半の少女たちを保護する『こころんハウス』の運営に携わっておられる曾我氏。シェルターの果たす役割と現状を詳しくお聞きしました。

曾我 智史さん NPO法人つなご副理事長

## 「家に居場所のない子どもたちを、自分たちの手でしっかり保護したい」

——曾我さんは児童相談所のアドバイザーもされていますが、そのお立場から虐待通告件数が増えていることについて、どう思われますか。

虐待通告件数は年々増加傾向にあって、中でも、激しい夫婦喧嘩など親の暴力的な言動でこどもの心身に影響を与える“心理的な虐待”で通告されるケースが増えています。最近は児童相談所でも心理的な虐待のケースをしっかりと捉えて対応しています。ただ、虐待自体が増えたというよりも、もともと通告されなかったものが顕在化して件数が増えている…、という印象ですね。

——児童相談所へはどこからの通告が多いですか。

近所の方から通報を受けた警察からの通告が多いようです。

——弁護士をしておられる曾我さんがこどもシェルターを始められたきっかけは何ですか。

私は弁護士として、少年非行事案を長らく扱ってきました。少年たちの弁護活動をするうち、非行の背景にはかなりの割合で親からの虐待があるのではないかと気付かされたのです。弁護士がお世話するのは14～19歳くらいの非行少年ですが、夜の街を徘徊するなど、犯罪自体は起こしていないケースが非常に多い。こんなケースでは、少年院や児童自立支

### 〈こどもシェルター『こころんハウス』とは〉

NPO法人つなごが、2017年9月に開設。居場所のない10代後半の少女を受け入れている。一軒家にテレビなどがある共有スペース、個室6室を備え、スタッフ6名が常駐。こどもひとりに対して弁護士が一名つき、法律、医療、心理、福祉、保健、教育といった専門家が多角的な視点から自立をサポートする。

援施設には入れません。そうなる、たとえ養育環境に問題があっても、法制度上は親元に帰すしか方法がない訳です。「また虐待されることが分かっているながら、こどもたちを、親元に帰していいのだろうか…」と、ずっと悩んでいました。そこで「こどもたちを自分たちの手元においてしっかりと養育環境を整えて、非行化するのを防ぎたい」と、仲間と一緒にシェルターを作りました。

—— どういったこどもたちがどんな経路でシェルターへ来るのでしょうか。

親子関係がうまくいかず、家庭内に居場所を失って逃げてくる家出少女、特に母親とうまくいかない子が多く、はじめは警察に保護されます。警察から児童相談所へ行き、一時保護所で受け入れ可能かを確認します。満員の場合、シェルターや児童養護施設に連絡が入ります。



「こころんハウス」

——もし児童養護施設に断られて、さらにシェルターがなかったら…。

親元に帰すでしょうね、きっと…。現実としてどこにも受け入れ先がないので。

——帰されてまた、家を飛び出るでしょうね。そして、非行へとつながっていく…。

そうですね。シェルターの活動を通じて、非行行為をすることになる前の“予防の部分”で関わることができていると自負しています。

——シェルターで少女たちは、どのような生活を送っているのでしょうか。

朝・昼・夜のごはんの時間帯だけは、必ず部屋から食堂に出きましょう、というルールだけ決めています。ごはんを食べる以外の時間は、シェルター内で自由に過ごしてもらっています。こどもの安全を守るための場所の秘匿性の関係で、シェルターから外には自由に出られません。

——心が落ち着く自由時間があれば、自分の状況を冷静に見直す機会にもなりますね。

中には「自分はどうしたらいいか」を、よく考える時間ができました」と言ってくれる子もいるんです。ゆっくり自分を見つめ直す時間は確保できていると思いますね。

——どのくらいでシェルターから出るのでしょうか。

長いケースでは半年でした。入所当初

は高校在学中で、単位も足りなくて高校中退か…と思われましたが、スタッフが毎日送迎して無事高校を卒業し、就職して出て行きました。

——卒業から就職までできたのは、シェルターが力になっていたのでしょうか。

スタッフがおせっかいしていますからね。「ちゃんと行きなさい」とか、「仕事頑張ってるの」とか。(生活を踏み外さないための)心のブレーキになっていたと思います。

——学費などは、どう賄っておられるのでしょうか。

資金繰りは大きな課題です。シェルターは県から公的資金を受けて運営していますが、人件費を切り詰め、寄付や会員費で賄っているのが現状で、それがなくなると、たちまち運営は成り立たなくなります。過去にも高校生の親が「家に帰ってこないなら、学費を払いません」と言ったケースがあり、その時は寄付を募って何とか資金を作りました。一人暮らしなど自立のための準備費用も寄付で賄わなければならない状況です。

## 「地域の方々の挨拶や声かけで、 児童虐待を減らせるかもしれない」

——「子どもを家に戻してください」という親が多いのでしょうか。

何も言ってこない場合が多いです。「もう連絡してこないでほしい」と…。本来親は子どもにとって“最大の支援者”。子どもが自立するために親とのコミュニケーションは必要であり、何とか支援者の輪の中に入れてもらいたいと思っています。

——親に見捨てられた子どもたちを、責めることはできないと。

おっしゃるとおりです。非行に走ってしまったとしても、その立場になって考

えれば考えるほど「子どもに罪はない」と痛感します。しかし、親がすべて悪いかと言えば、そうではない。近年、社会的に孤立し、ゆとりをなくしている親が増えています。もちろんその人自身の資質も関係しているとは思いますが、経済的・精神的に追い込まれる状況に置かれたら、誰もが虐待する親になり得ると思っています。親をとりまく環境、ひいては社会全体でなにができるかを考えていかないと、虐待は到底減りません。

—— 私たちが、虐待の通告以外で力になれることはあるでしょうか。

孤立している親へ、お声がけすることです。町のお祭りなど、地域の活動に来るようにおせっかいする。普段から挨拶して顔見知りになっていたら、本当に困ったときに一言「困っている」と言ってくれるかもしれませんよね。

—— 誰が悪い、という議論ではなく、孤立している家庭に対して「どう周りが手を差し伸べられるか」ということですね。

行政も法律によって権限の範囲が限ら



れているので、手が届かないところがあると思います。通告件数も増えて大変なので、そこを地域の方々がフォローするという視点が必要だと思いますね。

—— 孤立した親が必ず助けてもらえる仕組みはありますか。

必ずある、とは言えないと思います。また、助けを求める人の受け皿はあっても、受け皿につなぐコーディネーター役がないために、支援が回りきっていないのが現実です。私の知っている若手の熱心な行政職員は、「支援のコーディネートに手を付けていかないと」と、自ら勉強会を立ち上げて、NPOとも情報を共有しておられます。

—— 行政と民間団体、地域社会が協同して、子どもたちと支援をつないでいくことが大切だということが分かりました。関西では京都と大阪、和歌山、兵庫にシェルターがあります。その情報を広く知ってもらっただけでも救える子どもたちが増えるかもしれませんね。本日はありがとうございました。

### 取材を終えて

今回お話を伺いし、心身共に傷ついた子どもたちにとって、安心できる居場所と頼れる大人の存在が、次のステップを踏み出すために、いかに重要かを実感しました。また、虐待してしまう親へもまず挨拶して顔見知りになる、といったことから始める地域ぐるみの

支えが大切だと気付かされました。

私たち H2O サンタは、これからも社会的支援を必要とする子どもたちを取り巻く実情を調査し、みなさまに発信してまいります。そして、NPOや専門家と一般の方々をつなぐことで、社会課題の解決に努めてまいります。

## 梅田と万博記念公園で チャリティーイベント開催！

### 第8回 H2O サンタ NPO フェスティバル

会場：阪急百貨店うめだ本店 9階祝祭広場

7月11日(水)～16日(月・祝)の6日間で10団体の活動をご紹介します。楽しみながらNPOの活動を知っていただくNPOクイズでは、うちわ型に改良したクイズ用紙が大好評。2,040人の方にご参加いただくことができました。また公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所のブースにて大阪市こども相談センターによ



NPOクイズの答えを団体スタッフと共に。日本レスキュー協会様によるペットの災害に対する備えも紹介。



『里親相談会』に5組がご来場されました。

### H2O サンタ NPO フェスティバルとは？

様々な社会貢献団体の活動を紹介し、寄付を募る一大イベントです。各団体の展示ブースの他、ステージでの活動PRトークや応援パフォーマンス、NPOクイズラリーなどを実施。

る『里親相談会』を実施。個別にご相談をお受けし、具体的な情報をお伝えすることができました。東日本大震災の支援を目的としたチャリティー美術展も同時開催。今回のNPOフェスティバルでは、512,639円の募金を集めることができました。

レポート：H2O サンタ事務局 森田英里

### 『モノチャリティー』を初開催

価値はあるけれど、もう使わなくなったモノをお持ちいただき、現金化して寄付につなげるイベント。今回ブース出展された10の社会貢献団体に、寄付いたします。寄付金総額は次号で報告します。

レポート：H2O サンタ事務局 中田大三



### ——モノチャリティーにご協力 いただいた方の声——

偶然このイベントを知り、誰かの役に立つのならと思いい参加しました。支援したい団体が選べるのもいいですね。様々な活動をされている方と実際にお会いできるこのイベントが、もっと広まればいいと思います。

## ◎参加団体からの声

H2Oサンタでは、社会貢献団体の情報を収集し、直接お会いしてお話を伺った上で支援先を決めています。今回のNPOフェスティバルでは3団体が初参加しました。



養子縁組だけでなく、月に1～2日子どもと関わる週末里親制度があることなど、多くの方にお伝えすることができました。中には立ち寄られて、ボランティアに申し込まれた男性も。親元で暮らせない子どもたちに何ができるのか、考えていただく機会になれば嬉しいです。

公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所〈里親・養親家庭をさがす活動〉 **初参加**

約750名の方にリーフレット等をお渡しし、子どもの虐待防止のオレンジリボン運動など、私たちの活動をお伝えすることができました。初めて参加させていただき、色々勉強になり、貴重な経験をすることができました。是非また参加させていただきたいと思います。



NPO法人児童虐待防止協会〈児童虐待防止の為に親と子への支援〉 **初参加**



発展途上国の子どもたちへの医療支援について、皆様熱心に耳を傾けてくださいました。また、他の社会貢献団体の方々とお話しする機会もでき、新しい出会いの場にもなりました。次回は、この祝祭広場でできるボランティア活動を企画したいと考えています。

認定NPO法人ジャパンハート〈アジアのこどもの医療支援〉 **初参加**

虐待を受け、保護されている子どもたちが、一般の家庭で過ごす時間は、成長していく上でとても大切なことです。イベントでは里親制度になじみのない方にもアプローチでき、感謝しています。10月4日は里親の日。皆が子どもたちについて考える日になればと思います。



NPO法人日本子ども支援協会〈里親制度の啓発〉



今回は平成30年7月豪雨災害の被災地に救助犬が出動のため救助犬のデモンストレーションはできませんでしたが、セラビードッグ、里親探しの活動についても広く知っていただけました。このイベントがきっかけで会員になってくださる方もおられ、大変嬉しく思っています。

認定NPO法人日本レスキュー協会〈災害救助犬の育成と派遣〉

病気の子どもたちの“きょうだい”が感染予防のため病棟に入れず廊下でひとり待っている現状や、きょうだいたちの抱える思いにたくさんの方が心を寄せてくださいました。工作コーナーでは、3日間で200名以上の子どもたちが思い思いの“ロケット”を作ってくれました。



NPO法人しぶたね〈病気のこどものきょうだい支援〉

6日間に渡り開催したNPOフェスティバルでは、上記の団体を含め10団体にご参加いただきました。

## 熊本地震被災地支援

### 第1回H2Oサンタ チャリティーコンサート

～生演奏を楽しんで気軽にチャリティー～

会場:阪急百貨店うめだ本店9階 阪急うめだホール

生演奏を楽しみながら、熊本地震被災地の復興につなげようとスタートした、初のコンサートイベント。アンサンブルやコーラスなど、株式会社玉田ピアノ商会・ヤマハ音楽教室の生徒の皆様と先生方による生演奏の他、プロエレクトーンプレイヤーの富岡ヤスヤさんが特別出



生演奏をお楽しみいただくことで、支援につなげるチャリティーイベントです。

演。出演者、来場者を合わせて650人もの方にご参加いただきました。本イベントの入場料(税抜)および募金額の合計913,495円を熊本県社会福祉協議会に寄付し、災害ボランティア活動の支援金として役立たせていただきました。

レポート:H2Oサンタ事務局 中田大三

## イベント出展

### ロハスフェスタ万博 2018 Spring

会場:万博記念公園 東の広場

出展3度目となる今回は、社会貢献団体をご紹介するNPOクイズや、チャリティー缶バッジ作りなどを行い、4月28日(土)・29日(日・祝)の2日間で約1,700名の方にお越しいただきました。NPO法人JHD&C(ジャーダック)による髪の毛の寄付受付では、この日を調べて遠方から髪の毛を持参したとの嬉しい声もありました。

レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



#### 紹介した社会貢献団体

- NPO法人JHD&C(ジャーダック)  
〈頭髪に悩みを抱えるこどもたちへウィッグを提供〉
- 認定NPO法人日本クリニックラウン協会  
〈長期入院生活を送るこどもたちの支援〉
- NPO法人弱視の子どもたちに絵本を  
〈視覚障害のこどもの支援〉
- NPO法人レインボーチルドレン  
〈インド・スラムに住むこどもたちの教育支援〉
- NPO法人オーシャンゲート ジャパン  
〈障がい児も楽しめるダイビング体験の提供〉
- NPO法人ラマモンソレイユ  
〈発達につまづきがあるこどもたちの支援〉

## H2O サンタ チャリティー トーク イベント 報告

社会貢献団体をご紹介します、寄付を募るためのトークイベント。毎週土曜日の午後、H2Oサンタ係員がインタビューをしています。2018年4月～7月にご登場いただいた団体名と、その中から2団体の内容をご報告いたします。

2018年

- 4/7 SAL NPO法人しぶたね  
〈病気のこどものきょうだい支援〉
- 4/14 SAL NPO法人弱視の子どもたちに絵本を  
〈視覚障害のこどもの支援〉
- 4/21 SAL NPO法人オーシャンゲート ジャパン  
〈障がい児も楽しめるダイビング体験の提供〉
- 5/5 SAL 公益財団法人関西盲導犬協会  
〈盲導犬の育成・無償貸与〉
- 5/26 SAL 認定NPO法人日本レスキュー協会  
〈災害救助犬の育成と派遣〉
- 6/9 SAL NPO法人児童虐待防止協会  
〈児童虐待防止の為に親と子への支援〉
- 6/16 SAL 認定NPO法人プール・ボランティア  
〈障がい児へ水泳の体験を提供〉
- 6/23 SAL 認定NPO法人ノーベル  
〈訪問型病児保育〉
- 6/30 SAL 公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所  
〈里親・養親家庭をさがす活動〉
- 7/28 SAL 認定NPO法人女性と子ども支援センター  
ウィメンズネット・こうべ  
〈女性やこどもの人権の擁護や福祉の増進事業〉

児童虐待死亡数が年間50人を超える(厚生労働省第13次報告)なか、団体が最も力を入れている活動は『子どもの虐待ホットライン』の運営です。保育士・保健師さんなど、こどもに関わる仕事に就かれている方が、悩みを抱えている方の気持ちを電話で聴き、一緒に考える活動です。

様々な理由で親と暮らせないこどもが、日本に約4万人います(平成29年度厚生労働省資料より)。この団体ではそんなこどもたちに、里親・養親家庭を探す活動をされています。新たに親子となった後も支援をされていて、絵本『ふたりのおかあさんからあなたへのおくりもの』の朗読では「産みの母、育ての母、二人とも大切だね」というメッセージで、会場が感動に包まれました。

阪急百貨店うめだ本店の祝祭広場でのトークは、NPOの活動に興味のある方ばかりではなく、偶然立ち寄られた方々も聞いておられます。団体の方のエネルギーで、トークが進むにつれてお客様がどんどん興味を持っていかれ、イベントが終わるや客席を駆け下りて団体の方にご相談される様子を目の当たりにすることが、イベントの意義を実感できる瞬間です。

レポート:H2Oサンタ事務局 河瀬茂樹



## ◎寄付金についてのご報告

2018年4月～7月

# 寄付額合計 10,455,390円

募金活動やチャリティーイベントにて集まった寄付金を下記50団体へ寄付いたしました。たくさんのご支援ありがとうございました。

- あかりバンク
- 認定NPO法人アクセス  
—共生社会をめざす地球市民の会
- 公益社団法人アジア協会アジア友の会
- NPO法人アスロン
- NPO法人あっとオーティズム
- 公益財団法人梅ヶ枝中央きずな基金
- NPO法人オーシャンゲート ジャパン
- NPO法人おおさか子ども多文化センター
- 公益社団法人  
家庭養護促進協会 大阪事務所
- NPO法人関西子ども文化協会
- 公益財団法人関西盲導犬協会
- 熊本県社会福祉協議会
- NPO法人子どもセンターぬっく
- NPO法人子どもデザイン教室
- 一般社団法人  
こどものホスピスプロジェクト
- NPO法人児童虐待防止協会
- NPO法人しぶたね
- NPO法人JHD&C(ジャーダック)
- NPO法人弱視の子どもたちに絵本を
- 認定NPO法人ジャパンハート
- 公益財団法人ジョイセフ
- 認定NPO法人女性と子ども支援センター  
ウィメンズネット・こうべ
- 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- NPO法人そらいろプロジェクト京都
- NPO法人タイ国学生日本語教育環境支援  
プロジェクト
- NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス
- NPO法人つなご
- 認定NPO法人テラ・ルネッサンス
- NPO法人西淀川子どもセンター
- 認定NPO法人日本クリニックラウン協会
- NPO法人日本こども支援協会
- NPO法人日本サービスドッグ協会
- 一般財団法人日本ドリームボード財団
- 社会福祉法人日本ライトハウス
- 認定NPO法人日本レスキュー協会
- 一般社団法人ニュールック(new-look)
- 認定NPO法人ノーベル
- NPO法人兵庫介助犬協会
- NPO法人兵庫県子ども文化振興協会
- 社会福祉法人兵庫盲導犬協会
- 認定NPO法人プール・ボランティア
- 認定NPO法人  
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
- NPO法人ペッツ・フォー・ライフ・ジャパン
- 認定NPO法人  
ポルネオ保全トラスト・ジャパン
- NPO法人マミー(MAMIE)
- 一般社団法人ミナファミリー
- 公益財団法人民際センター
- NPO法人メリーミーズ
- NPO法人ラマモンソレイユ
- NPO法人レインボーチルドレン

※順不同

## 社会貢献へ理解を深め、次へつなげるために。

6月28日(木)、賛助会員のみなさまにH2Oサンタの1年間の活動を報告いたしました。

第2回目となる今回、105名の賛助会員さまにお集まりいただきました。理事 林 克弘のあいさつの後、事務局長の外間 孝次から「個人が持つ様々な“財”と社会貢献団体をつなぎ、啓発・寄付募金活動を行う」H2Oサンタの取り組みと成果について報告いたしました。震災以降、支援を継続している熊本地震被災地からは、熊本県社会福祉協議会 事務局長の吉本 裕二氏に動画でご登場いただき、具体的な支援金使途などについてお話しいただきました。

またH2Oサンタが2017年度に支援した団体を代表し、「NPO 法人西淀川子どもセンター」

「NPO 法人つなご」「公益社団法人アジア協会アジア友の会」「NPO 法人弱視の子どもたちに絵本を」のみなさまからも、団体の活動内容のご説明と支援金の使途、賛助会員さまへメッセージを動画で伝えていただきました。



夜に行き場のない子どもたちと夕食を作る活動などについて動画でメッセージをいただきました。

第二部では認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 代表理事 早瀬昇氏に『最近の社会課題と、その解決に取り組むNPOの動向』とのタイトルでご講演いただきました。

報告会を通じて、社会貢献活動に参加することへの意義について一層のご理解、ご賛同をいただけたのではないかと思います。今後も支援してくださる方へ分かりやすく、心に届く報告会を開催していきたいと考えています。



現代の子どもたちが抱える問題と、市民による社会貢献の重要性について理解が深まりました。

レポート：H2Oサンタ事務局 出路由香里

## 法人賛助会員さまによる NPO 支援

H20サンタと法人賛助会員さまとの情報交換や、ご相談いただいた中から生まれた支援についてご報告いたします。

おいしいお弁当を、こどもたちに。

◆株式会社 阪急デリカアイさまから

NPO法人西淀川子どもセンター(こどもの食事・教育支援)主催の春のイベント「春のよっしゃバザー」に、昼食用のお弁当をご提供いただきました。その際、株式会社阪急キッチンエール関西さま、太田運送株式会社さま、株式会社日展さまに、物流・装飾のご協力をいただきました。『たくさんのお弁当はとてもおいしく、こどもたちがたいへん喜んでいました』と、お礼のメールを頂戴しました。



焼きたてパンで、ピクニック。

◆株式会社 阪急ベーカリーさまから

NPO法人つなご(居場所がないこどもたちの避難ハウスの運営)主催の春のイベント「箕面の滝ピクニック」に、ピクニック用と翌日の朝食用に6種類のパンをご

提供いただきました。「室内で過ごすことが多いこどもたちにとって、自然の中で食べる焼きたてのパンはとてもおいしく、リフレッシュになりました」と、お礼のお便りが届きました。



支援の輪をひろげる

# ボランティア レポート

NPO法人兵庫介助犬協会 編

参加者

株式会社 木村商店 木村正紀さん

NPO法人兵庫介助犬協会

TEL.0798-37-4649

[http://www.geocities.jp/info\\_hsd/](http://www.geocities.jp/info_hsd/)

法人賛助会員さまのご協力により、ボランティア活動の輪をひろげています。その中から、今回初めてご参加いただいた方のご報告をいたします。



NPO法人兵庫介助犬協会(介助犬の育成、無償貸与)でのボランティア活動にご協力いただいた木村正紀さん。1時間の研修を受けられた後、犬の食器洗い、犬舎の清掃、冊子発送準備に携っていただきました。体力を使う業務をご担当いただいたので、「大



丈夫ですか?」とお声掛けすると「ワンちゃんたちが介助犬として活躍できることにつながると思うとやりがいがあります。学生時代に10年間サッカー部で鍛えているので問題なしです!」という力強い答えが。ご本人のお言葉通り、パワフルなお手伝いをしていただきました。

2018年10月～2019年1月のチャリティーイベントのご案内

## 11/3 ▶ 11/4 ロハスフェスタ万博2018 AUTUMNブース出展

場所 万博記念公園東の広場

入場料 350円 (小学生以下は無料)



## 1/16 ▶ 1/21 第9回H<sub>2</sub>Oサンタ NPOフェスティバル (同時開催)「世界にひとつだけのブライス」チャリティーオークション

場所 阪急百貨店うめだ本店 9階祝祭広場

時間 10:00～20:00 (金・土 21:00/最終日は18:00終了)

主催 一般財団法人 H<sub>2</sub>Oサンタ

「世界にひとつだけのブライス」チャリティーオークション共催

株式会社クロスワールドコネクションズ (CWC)



土曜日の午後は  
H<sub>2</sub>Oサンタチャリティー  
トークイベント

場所 阪急百貨店うめだ本店  
9階祝祭広場

時間 毎週土曜日13:00～/16:00～ ※非開催日もあり

詳しくはホームページで

H<sub>2</sub>Oサンタ

検索

## ◎賛助会員ご加入のお願い

H<sub>2</sub>Oサンタの活動を継続するためには、みなさまからのご支援が必要です。  
活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員へのご加入よろしくお願いいたします。

【会員種別】	【年会費】
法人会員	1口 50,000円
個人会員	1口 5,000円

### お申込み方法

賛助会員にご加入いただける方は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。申込書を送らせていただきます。また、申込書はホームページからもダウンロードすることができます。

### 問い合わせ先

TEL 06-6313-9304(一般財団法人H<sub>2</sub>Oサンタ事務局/10:00~18:00) ※火・日曜以外

HP <http://www.h2o-retailing.co.jp/h2o-santa/>



一般財団法人H<sub>2</sub>Oサンタは、H<sub>2</sub>Oリテイリンググループの社会貢献団体です。  
子ども支援をテーマに、地域社会にチャリティーの文化を創造することを目的とした  
4つの活動をおこなっています。

### 1 社会貢献団体と連携した啓発・募金活動

展示会やイベントで様々な団体を紹介し、寄付を募る活動を行っています。

### 2 寄付のためのイベント

寄付金を集めるための販売会・展覧会・ダンスイベントなどを開催しています。

### 3 ボランティアの仲介

ボランティア活動に参加していただける方々と社会貢献団体をつないでいます。

### 4 調査・発表

子どもたちに関連する諸問題を調査し、本誌などで紹介しています。

## [ H<sub>2</sub>Oリテイリンググループ ]

生活総合産業グループとして、地域社会の発展と豊かな生活環境づくりに貢献しています。

